

日本の近代戯曲を読む！

◎日本の近代戯曲研修セミナー

1937-38年に発表された久保栄『火山灰地』は、第一部と第二部からなる長編戯曲で、北海道の火山灰土での亜麻生産を舞台に、久保自身の言葉によると「日本農業の特質と概括化」と「科学理論と詩的象との統一」をもくろんだ作品です。北海道の方言を駆使して、総勢50人をこえる登場人物を生き生きと描き出した技量には凄まじいものがあります。社会主義リアリズムの極地ともいわれる『火山灰地』第一部・第二部を「読み」、そして、<政治>と<文学>との間で演劇を創作し続けた久保栄の演劇活動について「語る」、二日間。



久保 栄

Sakae Kubo (1900～1958)

劇作家、小説家。札幌に生まれる。3歳の時に祖父熊蔵の養子となり東京で暮らすが、後に実家へ復籍する。東京大学独文科選科在学中に「ホオゼ」を

訳し、1926年に築地小劇場文芸部に入り小山内薫に師事。ドイツ表現主義の戯曲の紹介・翻訳に従事する。大学卒業後は新築地劇団への参加、「劇場街」「劇場文化」の創刊、日本プロレタリア演劇同盟への加盟などをする。1930年に戯曲『新説国姓爺合戦』を発表。プロット加盟。そして社会主義リアリズムの極致ともいえる『火山灰地』を1937-38年に発表、自身の演出で上演。昭和15年新劇事件で1年半ほど投獄され、その後は終戦まで表舞台から退いていた。戦後は東京芸術劇場を結成、『林檎園日記』を上演する。小説『のぼり窯』では生家に取材した煉瓦工場を舞台に近代の北海道開発史を描く。1958年に縊死。代表作に『のぼり窯』『火山灰地』『五稜郭血書』など。

◆シンポジウムパネラー・7日 井上理恵 (いのうえ・よしえ)

東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科芸術学専攻修士課程修了。近現代演劇研究。桐朋学園芸術短期大学教授。日本近代演劇史研究会代表、日本演劇学会副会長。著書：『久保栄の世界』、『近代演劇の扉をあける』(第32河竹賞受賞)、『ドラマ解説』、『菊田一夫の仕事 浅草・日比谷・宝塚』(以上、社会評論社)共著：『井上ひさしの演劇』、『岸田國土の世界』(以上、翰林書房)、『20世紀の戯曲』全3巻(社会評論社)、『20世紀のベストセラーを読み解く』『樋口一葉を読みなおす』(以上、学芸書林)、『有島武郎叢書』(右文書院)、『家族の肖像』『村山知義 劇的尖端』(森話社)ほか多数。

◆シンポジウムパネラー・16日 梅原宏司 (うめはら・こうじ)

立教大学兼任講師。博士(比較文明学、立教大学)。専門は文化政策およびそれに関連する文化研究・日本政治思想史。『戦後日本政治における「文化行政」の位置づけ—「文化」は国家戦略の中にいかに包摂されたか—』(立教大学博士学位申請論文)、『プロレタリア演劇・新劇の観客組織論』伊藤裕夫・藤井慎太郎編『芸術と環境—劇場制度・国際交流・文化政策』(論創社)ほか。

<お申込み方法> ※あらかじめご予約ください。

◎申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込み下さい。
◎メールでご予約の際は、件名を「チケット予約」とし、本文に「お名前・枚数・ご連絡先」をご明記の上お申し込みください。予約完了メールが届いた時点で予約完了となります。

<お申込み・お問合せ先>

日本演出者協会 担当：川口/高木
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F
TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075 携帯: 090-1016-7092(当日のみ)
専用メールアドレス: kindaigikyoku@yahoo.co.jp
※受付開始、開場は開演の30分前です。
※受付は開演の5分前までにお済ませください。5分前を過ぎますとご予約を頂いてもお席をご用意できない場合があります。



※東京メトロ丸ノ内線「西新宿」出口2より徒歩7分

参加申込み票

氏名	フリガナ	性別	男・女	電話:	
ご住所	〒	FAX:			
チケット枚数	9/7(土) リーディング	枚	9/7(土) シンポジウム	枚	9/16(月・祝) リーディング
				枚	9/16(月・祝) シンポジウム
					枚